

2019年度化学物質環境実態調査結果 地域別データ

調査名:モニタリング調査

調査媒体:大気( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )

地方公共団体:宮城県

調査地点:宮城県保健環境センター(仙台市)

調査対象物質	測定値	検出下限値	定量下限値
[1] 総PCB	60	※0.8	※2.1
[1-1] モノクロロビフェニル類	4.3	0.02	0.06
[1-2] ジクロロビフェニル類	25	0.2	0.4
[1-3] トリクロロビフェニル類	16	0.1	0.3
[1-4] テトラクロロビフェニル類	7.9	0.2	0.5
[1-4-1] コプラナーPCBのうち 3,3',4,4'-テトラクロロビフェニル (#77)	0.05	0.02	0.04
[1-4-2] コプラナーPCBのうち 3,4,4',5-テトラクロロビフェニル (#81)	nd	0.009	0.022
[1-5] ペンタクロロビフェニル類	4.8	0.09	0.24
[1-5-1] コプラナーPCBのうち 2,3,3',4,4'-ペンタクロロビフェニル (#105)	0.13	0.02	0.04
[1-5-2] コプラナーPCBのうち 2,3,4,4',5-ペンタクロロビフェニル (#114)	nd	0.02	0.05
[1-5-3] コプラナーPCBのうち 2,3',4,4',5-ペンタクロロビフェニル (#118)	0.40	0.01	0.03
[1-5-4] コプラナーPCBのうち 2',3,4,4',5-ペンタクロロビフェニル (#123)	nd	0.02	0.06
[1-5-5] コプラナーPCBのうち 3,3',4,4',5-ペンタクロロビフェニル (#126)	nd	0.01	0.03
[1-6] ヘキサクロロビフェニル類	1.8	0.05	0.12
[1-6-1] コプラナーPCBのうち 2,3,3',4,4',5-ヘキサクロロビフェニル (#156)	tr(0.02)	0.02	0.04
[1-6-2] コプラナーPCBのうち 2,3,3',4,4',5'-ヘキサクロロビフェニル (#157)	nd	0.01	0.03
[1-6-3] コプラナーPCBのうち 2,3',4,4',5,5'-ヘキサクロロビフェニル (#167)	tr(0.01)	0.01	0.03
[1-6-4] コプラナーPCBのうち 3,3',4,4',5,5'-ヘキサクロロビフェニル (#169)	nd	0.01	0.03
[1-7] ヘプタクロロビフェニル類	0.36	0.05	0.13
[1-7-1] コプラナーPCBのうち 2,2',3,3',4,4',5-ヘプタクロロビフェニル (#170)	tr(0.03)	0.01	0.04
[1-7-2] コプラナーPCBのうち 2,2',3,4,4',5,5'-ヘプタクロロビフェニル (#180)	0.06	0.01	0.03
[1-7-3] コプラナーPCBのうち 2,3,3',4,4',5,5'-ヘプタクロロビフェニル (#189)	nd	0.01	0.03
[1-8] オクタクロロビフェニル類	nd	0.07	0.18
[1-9] ノナクロロビフェニル類	nd	0.03	0.09
[1-10] デカクロロビフェニル	nd	0.02	0.04
[2] HCB (ヘキサクロロベンゼン)	110	0.06	0.14
[11] HCH類	23	※0.14	※0.34
[11-1] $\alpha$ -HCH	16	0.05	0.12
[11-2] $\beta$ -HCH	2.3	0.02	0.06
[11-3] $\gamma$ -HCH (別名:リンデン)	3.9	0.05	0.12
[11-4] $\delta$ -HCH	0.38	0.02	0.04
[14] ポリブロモジフェニルエーテル類 (臭素数が4から10までのもの)	6.7	※0.5	※1.5
[14-1] テトラブロモジフェニルエーテル類	0.18	0.01	0.04
[14-1-1] 2,2',4,4'-テトラブロモジフェニルエーテル (#47)	0.13	0.01	0.03
[14-2] ペンタブロモジフェニルエーテル類	tr(0.09)	0.05	0.12
[14-2-1] 2,2',4,4',5-ペンタブロモジフェニルエーテル (#99)	0.08	0.02	0.05
[14-3] ヘキサブロモジフェニルエーテル類	nd	0.05	0.13
[14-3-1] 2,2',4,4',5,5'-ヘキサブロモジフェニルエーテル (#153)	nd	0.03	0.07
[14-3-2] 2,2',4,4',5,6'-ヘキサブロモジフェニルエーテル (#154)	nd	0.03	0.07
[14-4] ヘプタブロモジフェニルエーテル類	nd	0.1	0.3
[14-4-1] 2,2',3,3',4,5',6-ヘプタブロモジフェニルエーテル (#175)	nd	0.02	0.04
[14-4-2] 2,2',3,4,4',5',6-ヘプタブロモジフェニルエーテル (#183)	nd	0.03	0.07
[14-5] オクタブロモジフェニルエーテル類	tr(0.2)	0.1	0.3
[14-6] ノナブロモジフェニルエーテル類	1.0	0.1	0.3
[14-7] デカブロモジフェニルエーテル	5.2	0.1	0.3
[15] ペルフルオロオクタンスルホン酸 (PFOS)	7.5	0.3	0.8
[16] ペルフルオロオクタタン酸 (PFOA)	14	0.3	0.8
[17] ペンタクロロベンゼン	55	0.04	0.09
[19] 1,2,5,6,9,10-ヘキサブロモシクロドデカン類	nd	※0.4	※0.9
[19-1] $\alpha$ -1,2,5,6,9,10-ヘキサブロモシクロドデカン	tr(0.1)	0.1	0.3
[19-2] $\beta$ -1,2,5,6,9,10-ヘキサブロモシクロドデカン	nd	0.08	0.21
[19-3] $\gamma$ -1,2,5,6,9,10-ヘキサブロモシクロドデカン	tr(0.2)	0.2	0.4

(注1) 「nd」は不検出を意味する。

(注2) 「tr」は検出下限以上、定量下限未満を意味する。

(注3) ※: 定量[検出]下限値は各同族体等の定量[検出]下限値の合計値とした。

2019年度化学物質環境実態調査結果 地域別データ

調査名:モニタリング調査

調査媒体:大気( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )

地方公共団体:宮城県

調査地点:宮城県保健環境センター(仙台市)

調査対象物質	測定値			検出下限値	定量下限値
[20] 総ポリ塩化ナフタレン	67			※0.2	※0.6
[20-1] モノ塩化ナフタレン類	45			0.03	0.08
[20-2] ジ塩化ナフタレン類	13			0.02	0.06
[20-3] トリ塩化ナフタレン類	3.1			0.02	0.06
[20-4] テトラ塩化ナフタレン類	5.2			0.04	0.11
[20-5] ペンタ塩化ナフタレン類	0.97			0.03	0.08
[20-6] ヘキサ塩化ナフタレン類	0.10			0.03	0.07
[20-7] ヘプタ塩化ナフタレン類	nd			0.02	0.04
[20-8] オクタ塩化ナフタレン	nd			0.02	0.05
[21] ヘキサクロブタ-1,3-ジエン	tr(20)	tr(20)	tr(20)	20	50
[22] ペンタクロフェノール並びにその塩及びエステル類	31			※0.3	※0.9
[22-1] ペンタクロフェノール	2.7			0.2	0.6
[22-2] ペンタクロアニソール	28			0.1	0.3
[23] 短鎖塩素化パラフィン類	tr(1,000)			※400	※1,100
[23-1] 塩素化デカン類	400			100	400
[23-2] 塩素化ウンデカン類	300			100	300
[23-3] 塩素化ドデカン類	tr(150)			90	260
[23-4] 塩素化トリデカン類	nd			80	250
[24] ジオホル	nd			0.2	0.4

(注1)「nd」は不検出を意味する。

(注2)「tr」は検出下限以上、定量下限未満を意味する。

(注3)※:定量[検出]下限値は各同族体等の定量[検出]下限値の合計値とした。